

## 2015年 第9回国大化学会総会報告

国大化学会総会・懇親会 G 平野 昌由 (平成4年物工Ⅱ卒)

第9回国大化学会総会は2015年6月20日、横浜崎陽軒本店にて無事開催することが出来ました。

今回の総会では同窓委員会と共同して、学内開催のときに好評であった研究室の学生さんの姿をご覧いただくということを総会会場で出来ないかと、総会前に化学系研究室の研究内容をポスター発表していただきました。初めての試みということもあり宣伝不足、準備不足はありましたが、発表の学生さんと活発な意見交換が行われていました。まだ発表の方法など改善の余地は多くありますが、同窓委員会と協力し継続したいと考えております。

総会は学部改変、校友会設立に伴い、総会で承認を頂く項目が多くあり、かなり急ぎ足の議事進行になりました。平井太一郎会長より新役員を紹介、校友会、化学会の昨年－今年度の基本活動についての報告。各委員からは通常の収支報告に加え、学生支援の報告(本年は博士課程進学の方5名にそれぞれ30万円を入学時支援として進呈)を頂きました。また校友会発足により化学会の会則の変更提案行いまして、全て承認を頂きました。

総会后、長谷部学長より、学校、校友会、化学会を含む同窓会の関係や期待されることについてお話頂きました。

講演会は元慶応義塾大学教授 現 IDAC セラノステイクス株式会社 研究主幹の柳川弘志氏(S44年応化卒、S49年博士課程修了)をお招きし「予期せぬ展開、だから研究は面白い」と題して御講演を賜りました。

「諦めず継続していく」という研究者としての資質を学ぶ良い機会になりました。

今回も講演会から横浜三工会(物質工学科工学系同窓会)の参加がありました。鈴木恵一郎国大化学会副会長、井上誠一横浜工業会理事長、横浜三工会上ノ山周会長より同窓会を取り巻く環境の変化や今後の同窓会のあり方について具体的な提案も頂

くなど、ご挨拶を賜りました。

乾杯はもはや恒例となった初代国大化学会会長樋口修一郎氏の紙芝居で発声を頂き大いに盛り上がりました。

乾杯後は本年も学生とOB OGとの懇談に時間を充てましたが、学生さんが話を聞ききたいであろう、少し上の先輩方(卒業後10年くらい平成17年あたりまで)の参加者が不在で、参加してくれた学生さんが先輩と交流を図る懇親会とはなりませんでした。私が、国大化学会の総会を担当となり5年が経ちますが、今回の総会出席者数は過去最低となっております。来年は国大化学会10周年の年になりますが、このままでは会の存続自体が危ういと感じています。直近3年の学校、同窓会の環境変化は激しく、変化に対応し会としての体裁を保つだけでも大変な状況となっている事そして、会の存在意義がこれまでの卒業生の交流の場としてだけでなく先輩として学生を支援することにも重心が移っていることもあわせてお伝え致します。また、これまで会の中心におられた昭和年代卒業の先輩方の高齢化が進み会の運営を平成卒業の人達中心に移していくタイミングになっていることを皆さまには御理解いただきたいと思います。

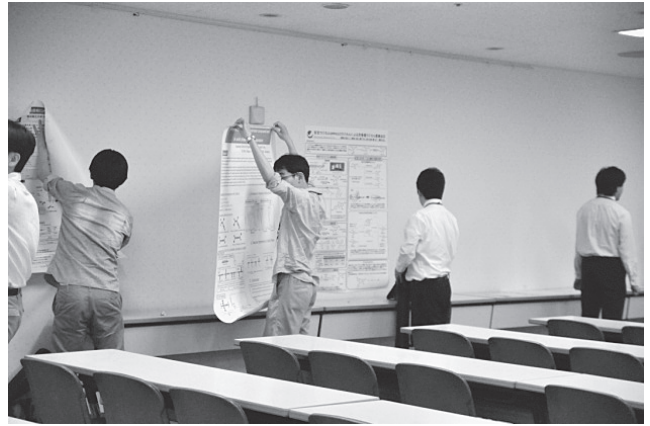
最近でも団塊世代の退職により技術の継承が問題になりました、ひとのつながりは途切れてしまうと修復は容易ではありませんが、まだ間に合う筈です。平成年代卒業のわたくしとしては来年の10周年には新しい国大化学会へ舵を切っていく年にしたいと考えています。昭和年代卒業の大先輩方が安心して参加頂ける国大化学会へ、平成年代卒業の皆様にはこれから将来も継続し続けられる国大化学会へ、その為の御協力をお願い致します。みなさまが国大化学会へ少しでも興味を持って頂けるような提案もどんどん行って行きますので、ぜひともご参加頂き、10年目の節目に新しい国大化学会への一步をみなさま

と踏み出したいと思っています。後半は長々とわたくしの希望が入ってしまいましたが御容赦ください。

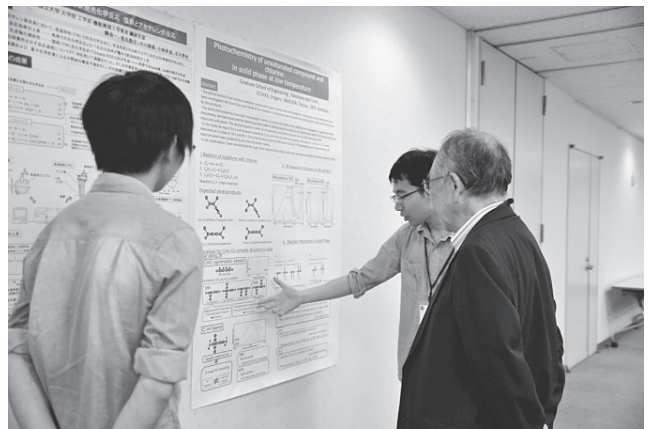
最後に、今回のポスター発表準備と総会の為に尽力頂きました、事務局の滝さん、牧野さんをはじめ、

学生役員さん、当日お手伝い頂いた学生のみなさん、発表して頂いた研究室のみなさんの協力があり無事総会を開催することが出来ました。ここに改めて御礼申し上げます。

## ポスター発表



ポスター発表準備



ポスター発表





総 会



平井会長 挨拶



総会参加者



鈴木副会長による今後の名簿について



ドクタースタートアップ学生支援の学生紹介



講演会



長谷部学長



講演する柳川弘志氏

懇親会の模様





来賓挨拶



乾杯



